

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報 [号外] 2009年6月29日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 【No.25】

JR総連が「対立」を強調するほど深まる革マル疑惑！

本号からは、JR総連と革マル派との「対立」について検証する。

「週刊現代裁判」などで、JR総連側は坂入氏の拉致事件 (No.12 参照) など、革マル派との「対立」を強調し、同派との関係はなく、むしろ意見が対立し、関与を排除してきたと主張している。しかし、労働組合の方針が革マル派の方針と相容れないのは当たり前で、対立以前の問題である。そもそも、普通の労働組合は無縁であるはずの革マル派が、ことさらに組織に関与しようとし、関係者を拉致・監禁まですることこそ異常だ。彼らが革マル派との「対立」を強調すればするほど、両者の胡散臭い関係を疑わざるを得ない。

例えば、JR総連側は、彼らが革マル派と無縁である理由として、以下のように、革マル派が2001年に発生した「9.11同時多発テロ」を賛美したが、JR総連・東労組は反対したことを論拠に挙げている。「9.11テロ」を賛美する労組など、どこにあるというのか。「テロに反対したから革マル派とは関係ない」とは、実に幼稚な言い訳である。

「週刊現代裁判」での梁次邦夫氏 (東労組大宮地本元副委員長) 尋問 (2009年2月17日) (原告側代理人) (革マル派と対峙するようになったできごとは) そのほかに何かありますか。 (梁次) (前略) 01年の9.11、同時テロに対して革マル派が、あれは聖戦である、ジハードであると賛美しましたんで、私たちは戦争にもテロにも反対という行動、アフガン難民支援闘争もやってましたから、そんなテロを賛美する、そういう革マル派に対する糾弾もやってました。 (代理人) 今、言いました2001年9月11日の同時多発テロに関して、あなただけではなくて、東労組もテロに対して反対の意思を表明してたわけですね。 (梁次) もちろん東労組もそうですけど、JR総連全体でその反対をやってました。 (代理人) その点でも革マル派と意見が違ったと、そういうことですね。 (梁次) 意見、全く違いました。

「坂入事件」以前にも動労第4代青年部長が革マル派に拉致される！

難解なJR総連と革マル派との「対立」であるが、関係資料を紹介し、検証を進めることとしたい。まず「坂入事件」以前の1994年に発生した革マル派による拉致・監禁という特異な事件を紹介する。2008年4月発行の「松崎明秘録」には、松崎氏のインタビューとそれを解説した以下の記載がある (p.102)。松崎氏は「うちのメンバー」が革マル派に拉致され、海外に逃亡して死亡したことを自ら語り、解説で事件の詳細が説明されている。

松崎 革マルはね、最初は分派活動を完全に保障するということになってたんですよ。みなさん、不思議に思うかもしれないけど、そうだったんですよ。ところがそれはある時期までだった。うちのメンバーで、革マルに何年もパクられて事実上リンチをくってた者が何人もいるし、1人はオーストラリアへ逃げて行って死んじゃったです。目黒のさつき会館の入口に碑がありますけどね。

以下、解説部分 労働運動家の樋口篤三は、... (中略)... 1994年の革マル派によるJR総連労働者の拉致について、《昨今、ようやく分かってきたが、- (中略) - 「1994年」とは、JR総連革マル派幹部が同派主流に拉致された時である。本部批判の沖縄革マル派 - (中略) - に、説得」に派遣された上野孝 (動労第4代青年部長) らが同調し、査問のため2年半も監禁されていた時、ついに革マル派主流にJR総連グループが反旗をひるがしていたのであった。》

検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>